

プロテオーム受託解析のキャンペーン

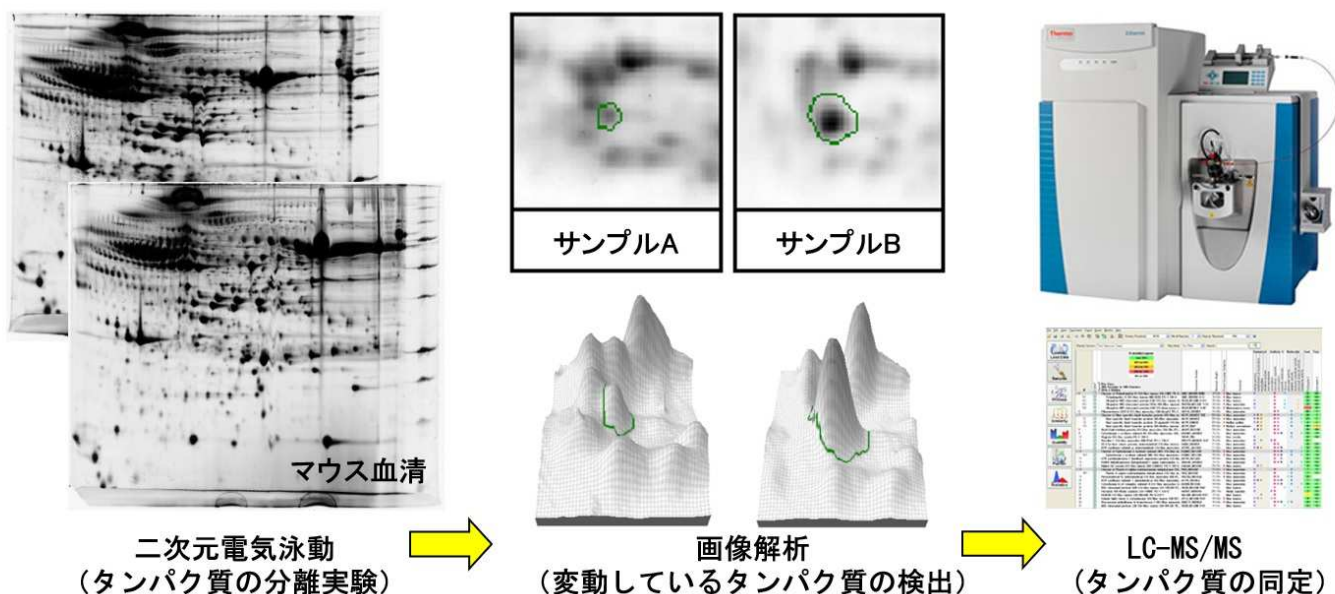
～ 二次元電気泳動による受託解析サービス ～

二次元電気泳動法は、サンプルに含まれるタンパク質を 1,000個以上のスポットに分離する事が可能です。サンプル内に含まれるタンパク質を網羅的に解析し、差異のあるタンパク質を見つけます。また、同一タンパク質であっても、翻訳後修飾（リン酸化など）が異なるタンパク質の分離・検出も行えます。

スポット検出方法は、蛍光染色法（SYPRO Ruby）を行いますので、微量なタンパク質も検出します。二次元電気泳動から検出されたスポット数は、サンプル毎に1,000個を超える事もありますが、二次元電気泳動解析ソフトウェア・SameSpots（Totallab社）を使用し、2倍以上の変動しているスポット群を報告します。

変動しているスポットは、質量分析 LC-MS/MS 解析により、タンパク質を同定し報告します。高精度の質量分析装置にて解析を行う事により、微量なスポットからでも、精度の高い同定結果を報告します。他社の受託解析で同定できない微量なサンプルでも、同定結果を報告できる場合もあります。

当社は二次元電気泳動装置の製造メーカーであり、国内で300を超えるユーザー様に販売実績があり、多くのユーザー様のサンプル解析をサポートした実績が有ります。蛍光ラベル処理を行ったサンプルによる二次元電気泳動の受託も可能です。



2024年6月28日まで 25%OFF キャンペーン

解析1：二次元電気泳動解析 及び 画像解析：60,000円 / 1 検体

→ → → 25%OFF キャンペーン価格：45,000円 / 1 検体

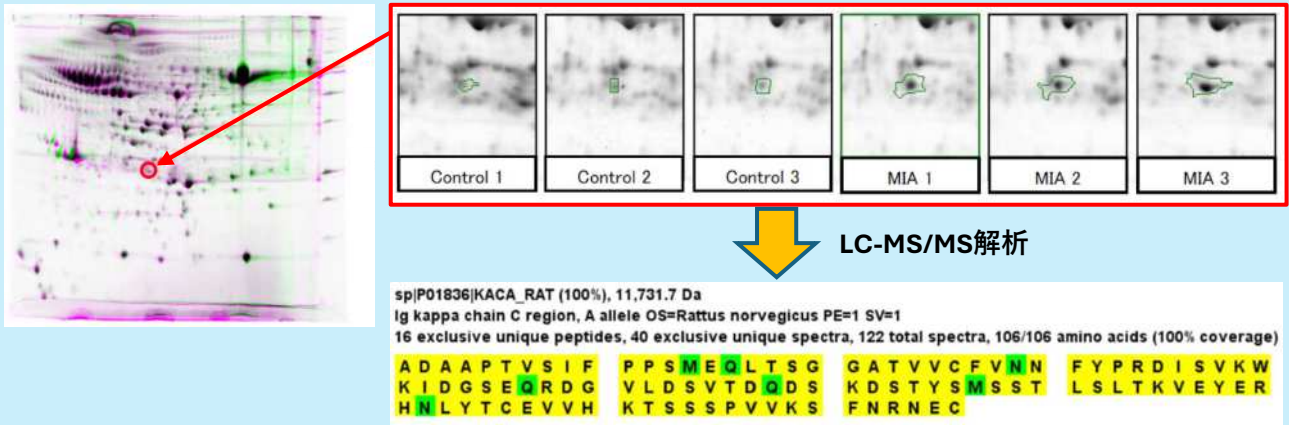
解析2：質量分析 LC-MS/MS解析：100,000円 / 1 スポット

※ 質量分析の受託解析はキャンペーン対象外です。

実験例：バイオマーカー探索

孤発性統合失調症発症仮説を模倣し開発されたMaternal immune activation model rat (MIAラット) の血清サンプルを使用したバイオマーカー探索です。MIAラットとコントロールラットの血清サンプル (各3検体) を使用して、二次元電気泳動実験を行い、変動しているスポットからLC-MS/MS解析を行い、バイオマーカー候補のタンパク質を報告しました。

このバイオマーカー候補は、実際の患者に応用可能であることを依頼者から報告を受けており、また、バイオマーカー (Ig kappa light chain) は、RESVO社にて販売しております。



バイオマーカー：Ig-k chain C region

文献1：Oh-Nishi A et al. A possible serologic biomarker for maternal immune activation-associated neurodevelopmental disorders found in rat models. Neuroscience research 2016

実験例：蛍光ラベル処理を行ったサンプルによる二次元電気泳動

タンパク質の硫黄化合物種のチオール基に、モノプロモビマン分子 (mBBBr) をラベル化したサンプルによる二次元電気泳動の画像データです。上図は、モノプロモビマン分子がラベル化されたスポットの画像データ、下図は、SYPRO Rubyで全スポットを検出した画像データです。2群の画像解析で、変動しているスポットも確認できます。

お手持ちの蛍光ラベル処理を行ったサンプルにて、二次元電気泳動を行ってみませんか？

